

新町誕生を祝って 「南越前町讃歌」と「第九」を披露

5月29日南条文化会館で、新町誕生を祝う第九演奏会が開かれました。まず、南条中、河野中の2年生と今庄中学校吹奏楽部員129人が南越前町讃歌「あなたはどんな花が好き」を披露。3週間という短い期間で練習に励んだ成果を発揮し声高らかに歌い上げました。次に、昨年11月に中学生から80歳代までの115人で結成された南越前第九合唱団が「第九」を披露しました。第九は初めてという人がほとんどでしたが、週1回の練習を重ねドイツ語の発声もマスター。



堂々と歓喜の歌声を会場に響かせました。

観客らは「讃歌は歌詞の中に知っている言葉がでてくるので、次はどんな言葉がでてくるのかと楽しみに聴いていました。また第九もどんなに練習したんだろうと思うほどすごかった。どちらもオーケストラに合わせて歌うのは難しいと思うのに本当にすばらしかった」と盛大な拍手を送っていました。



ロマンに足を踏み入れて 夜叉ヶ池山開き

夜叉ヶ池の山開きが6月5日行われ、町内外から登山愛好者ら約430人が訪れました。はじめに登山口で安全祈願祭が行われ、夜叉太鼓や扇舞を奉納。増澤町長が「これからもみんなで協力して自然を守り、夜叉ヶ池を永遠に残していきたい」とあいさつしました。参加者らは、一列になって登り始め、夜叉滝や樹齢300年といわれるトチノキの巨木を眺めたりして、約1時間半で到着。



池では登山者が見守る中、夜叉姫の魂を慰める神事「山頂祭」が行われました。この日は、霧に覆われ澄み切った池を見ることはできなかったものの、訪れた人たちは池にすむヤシャゲンゴロウを見つけ「これがヤシャゲンゴロウ?かわいいね」と観察するなど自然を満喫していました。

技術を活かして 住宅補修ボランティア



6月6日、福祉事業に一役をと、南条建築組合が65歳以上の一人暮らし老人等を対象に、住宅補修のボランティア事業を行いました。この日は、組合員ら約30名が班に分かれ、19世帯で作業。座敷の床をめくり下地から取替えての張替え作業や、雨どいや屋根瓦の修理、手すりの取り付けなどを行い、作業をもらった人たちは「気になっていた所が、プロの手で直してもらって嬉しい」と喜び顔。

作業を終え、加藤晴雄組合長は「この活動は今年で8回目。毎回、私たちの技術が社会活動として力になっていると、やりがいを感じています。また、今回、鯖江市から大工仲間が活動を体験させてほしいとやって来るなど、活動の拡がりもあります。これからも続けていけたら」と話していました。

りがいを感じています。また、今回、鯖江市から大工仲間が活動を体験させてほしいとやって来るなど、活動の拡がりもあります。これからも続けていけたら」と話していました。

美味!うめねばあ〜スタミナ丼 山海里料理コンテスト

山海里料理コンテストの第1弾、梅料理コンテストが5月28日、JA越前たけふ営農センターで行われ、8組が工夫を凝らした梅料理を披露しました。その結果、南越前町の川口智代さん(糠)と川島さつきさん(大良)の「うめねばあ〜スタミナ丼」が最優秀作品に選ばれました。この料理はあったかご飯に梅干、納豆、オクラを混ぜたものをのせたどんぶり。栄養があって手軽に作れることが評価されました。



▲うめねばあ〜スタミナ丼

為永麻記子審査委員長(鯖江ヘルスクッキングスクール校長)は「食生活を見直さなければいけない現代で、このメニューは油を使わない上、栄養満点で身体が喜びそう。梅も活かされ、ぜひみなさんに食べてほしいです」と講評。川口さんと川島さんは「簡単な料理なので選ばれるなんて思いませんでした。納豆が嫌いな人も梅干の風味でおいしく食べられると思います。ポイントは納豆とオクラのネバネバ感!」とアピールし受賞を喜んでいました。

まちの話題



町の文化活動に拡がりを

南越前町文化協議会設立総会



5月26日南条文化会館で、かねてから設立準備を進めていた南越前町文化協議会の設立総会が開かれました。設立に向け、南条、今庄地区の文化協議会では、昨年9月から文協統合に向けた話し合いを進め、河野地区では公民館サークルが軸となって5月9日には河野地区文化協議会を立ち上げ、今回の統合となりました。

総会には、各地区文化協議会や公民館サークルの関係者ら約100名が出席。会則や事業計画、予算が決められたほか、初代会長に小山喜一氏(社谷)副会長に今村和夫氏(脇本)及び大下彰氏(糠)が選出されました。小山会長は「文化活動が活発になればなるほど心豊かな町になります。3つの地区の特徴を活かした文化協議会にしていきたいと思います。地区独自の活動を基本に文協誌の発行や国民文化祭・ふくい2005への参加などに取り組んでいきます。」

国際感覚の醸成と明るいまちづくりを 南越前町国際交流協会設立総会



5月28日、南条文化会館で南越前町国際交流協会の設立総会が開かれ、国際交流活動に関心のある町民ら40人余りが出席。会則や事業計画、予算が決められたほか、初代会長に山本優氏(鑄物師)、副会長に金山延子氏(湯尾)が選出されました。山本会長は「日本は世界の中で重要な立場にあります。私たちは活動を通じて国際感覚の醸成を図り、明るいまちづくりに努力していきます」とあいさつ。その後、ドイツからのゲストを交え、日本の大正琴演奏や踊りを紹介し交流を深めました。